

未成年者の喫煙 防止を訴え啓発

東海たばこ販売協組連

東海たばこ販売協同組合連合会(石原央会長)は1日、管内の東海4県で未成年者の喫煙防止を訴える街

頭啓発を行った。

内閣府が呼び掛ける「子ども・若者育成支援強調月間」(11月)に伴う活動で、毎年実施。県内ではこの日、岐阜、高山、中津川の各組合と、岐阜組合を構成する美濃加茂、多治見の各支部が中学校やショッピングセンターなど6カ所で活動した。



岐阜市神田町の名鉄岐阜駅周辺では、組合員や日本たばこ産業(JT)の関係者のほか、県私学振興・青少年課の職員ら20人がポケットティッシュ計3千個を配布して啓発写真。岐阜組合の杉原實会長は「未成年者の喫煙防止に協力を」と呼び掛けた。

(舌間隆博)